

伝統と新しさが会う夏祭り ひたち盆 FIRE2026 を開催



8月29日と30日の2日間、日立シビックセンター新都市広場でひたち盆 FIRE2026 が開催されました。イベントの開催は今回で4回目。ステージでのパフォーマンスや、お笑いライブのほか、「盆 FIGHT」と題した綱引き大会が行われました。夜には提灯で彩られた会場で、盆踊りや「桐生八木節」、日立流にアレンジした「日立八木節」が行われ、会場は大いに盛り上がりました。



国民宿舎「鵜の岬」 37年連続で宿泊利用率全国1位



全国国民宿舎宿泊利用率のランキングで、十王町の国民宿舎「鵜の岬」が第1位となりました。広大な太平洋を一望できる景観が人気の同施設。近年は、公式サイトやSNSでの情報発信の強化や地元産の食材を楽しめる料理コースの提供など、高い宿泊率を維持するための取組に力を入れてきました。また、鵜飼漁の実演や地域のお祭りへの参加など、地域の文化に触れられる機会を提供し、新たな付加価値づくりにも取り組んでいます。

動物園に新たな仲間 アメリカビーバーが誕生



8月17日、かみね動物園でアメリカビーバーの赤ちゃんが2頭生まれました。父親はコウコウ、母親は希（のぞみ）。2頭のかみね動物園での繁殖は今回で3回目で、赤ちゃんは両親と一緒に、外に出る練習をしながら元気に過ごしています。泳ぎや潜水が得意なビーバー。令和5年にリニューアルしたビーバー舎「アメリカビーバーのダム」では、ビーバーが気持ちよさそうに池を泳いだり、寝室でゆっくり休んでいる様子を間近で観察できます。

観光果樹園がオープン 折笠ぶどう部会が市役所を訪問



8月26日、折笠ぶどう部会の鈴木一生会長らが市役所を訪れ、出来栄えを報告しました。日本で一番海に近いぶどう栽培地である折笠地区。太平洋に面した涼しい気候をいかして、巨峰やシャインマスカットなど約50種類を栽培しています。鈴木会長は、「今年は暑さや台風、害虫の影響が大きく大変だったがおいしいぶどうができた。ぜひたくさんの人に食べてほしい」と話しました。

市 HP
(折笠観光ぶどう園)



大規模災害に備えて 消防本部が震災救助訓練を実施



9月3日と4日、解体予定の県営浜の宮アパートで、地震などの大規模災害を想定した、救助隊による震災救助訓練が行われました。大規模な地震が発生した際には、建物の倒壊などにより玄関ドアが開かなくなったり壁や床が障害となることで、建物への進入や要救助者の救出が困難となる場合があります。隊員たちは、建物に人が取り残されたことを想定し、壁や床などを破壊して進入・救出経路を確保するなど、災害に備えた訓練に取り組みました。